

- バスの運転手は防護服もマスクもなし。汚染検査も受けず
- 避難所の面積は一人当たりわずか2.2㎡
- 「今後は中に入って見学できるように福井県庁の中で伝えます」

10月25日(土)、美浜原発の事故を想定した福井県原子力防災訓練の住民避難訓練が行われました。避難に参加した住民は約730人で、約6,000人は「屋内退避訓練」でした。美浜原発から30km圏内の敦賀市民の県外避難先は奈良市です。途中のスクリーニングは木之本インターチェンジでしたが、見学は難しいため、避難所の奈良市消防局第2庁舎の視察に出かけました。しかし驚くことに、庁舎建物内での見学を禁じられ、建物の外で参加住民や職員に話を聞くことしかできませんでした。当日見聞きしたことと、後日、敦賀市の危機管理対策課・原子力防災係に電話で確認したことをまとめて報告します。



#### ◆避難訓練参加の住民の様子



入口で福井県の責任者に避難所の見学を求めていると、11時40分頃1台目のバスが到着。その後15分～20分の間隔でバス3台が到着しました。訓練参加者は3台で計96人でした。全体的に高齢男性が多く、子どもは5歳くらいと小学生の二人だけでした。入り口は狭く、感染症対策の別経路や別室の準備はありません。受付は、ラインと紙の併用で、ラインはバスの中で必要事項を記入してあり、短時間でしたが、紙の人はその場で記入し、少し時間がかかっていました。マスクは半分くらいの人が行っていただけでした。受付を済ませたあと、庁舎内のホールに集合し、休憩後2室に分かれて放射線防護の話を聞いたとのことでした。

#### ◆バス運転手は被ばく防護も検査もなし。「送り迎えするだけで、防護服の話は聞いていない」

バスの運転手は3人ともマスクも防護服もありませんでした。バス1台は、車が汚染していて代表者の検査。次の1台は代表者も汚染していて全員検査。もう一台は車の汚染がなかったので検査なしという設定だったそうです。

住民全員が検査となったバスの運転手さんに検査を受けたか尋ねると、「自分は受けていないし、送り迎えするだけで、防護服等の話は聞いていない」ということでした。このことは敦賀市に伝えましたが、ご意見として承っておくというだけで、「住民が全員検査したバスの運転手も検査の必要がある」とは言いませんでした。

#### ◆敦賀市民の避難所面積は一人当たりわずか 2.2m<sup>2</sup>

##### 自然災害時の奈良市民の避難所面積は一人当たり 3.5m<sup>2</sup>

消防局の避難所の面積を計算すると一人当たり 2.2m<sup>2</sup> にしかありません。奈良市の職員に尋ねると奈良市の避難所は他にもあるとのことでしたが、計画の避難所を全部合わせて計算しても一人当たり 2.6m<sup>2</sup> です。これについては「福井県との協定でこうなっているが、現在、自然災害の避難所の環境整備も大事な状況にあるため、奈良市としては避難所面積を奈良市民一人当たり 3.5 m<sup>2</sup> 確保する試みはしている。意見は申し伝える」と答えました。また、「ここは奈良市民の避難所でもあるので、複合災害で市民が使う場合は奈良県他市か、全く災害のない遠方で引き受けてもらうことも考えないといけない」とも言われていました。

敦賀市職員も能登半島地震後、避難所はスフィア基準※に沿うことを求められており、面積の確保は必要だと後日の電話で話していました。

※スフィア基準：被災者が尊厳ある暮らしを営むための人道支援の最低基準を示した国際基準  
スフィア基準では「避難所と避難先の居住地」の基本指標として、避難所での居住スペースを 1 人当たり 3.5m<sup>2</sup> 以上としている。

#### ◆甲状腺モニタリングは検討なし

敦賀市は、甲状腺モニタリングについては、指針にあるが予定はないし、県からも言われていないそうです。ただ、具体的にどうするか話し合いはしないといけないだろうと言っていました。そして、安定ヨウ素剤の U P Z 内事前配布については、「希望者への配布をしているという P R を強化するように」と敦賀市長から言われているので、もっとしっかりやってきたいと述べました。

#### ◆スクリーニングを受けずに避難する人への対策を検討中

敦賀市は、スクリーニング会場で検査を受けずに避難先に行ってしまう人に対する対策の一つとして拠点避難所（奈良市鴻池運動公園）等でのスクリーニングを検討しているそうです。スクリーニングは県が主体なので福井県にも対策の必要性を伝え、他市町も同様の課題があるので、あらゆる可能性を考えて対策をとるべきだと考えているとのこと。機材の準備等、技術的問題があるので会場も含め、これから具体化していきたいと話していました。

#### ◆「今後は中に入って見られるように福井県庁の中で伝えます」（福井県職員）

敦賀市も奈良市も、建物内の見学禁止は福井県が決めているのでよくわからない、訓練の邪魔にならなければ敦賀市としては見学を拒否する理由はないということでした。私たちが「コロナ禍での避難訓練で、敦賀市内の避難所では一人当たりの距離を取っていたので、広域避難先の避難所ではどうしているか見たかった」と話すと「そういうことだったのですね。すみません。今後は中に入って見学できるように県庁の中で伝えます」と述べました。実行されるよう求めます。

11 月 6 日 避難計画を案ずる関西連絡会 避難訓練監視参加者